

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院形成外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2014 年 1 月 29 日 ～ 2026 年 3 月 31 日の間 に、 下垂体手術後の外鼻変形 のために虎の門病院形成外科に入院・通院し、 外鼻形態に対する手術 を受けられた方（当時未成年の方を含みます）

【研究課題名】

経鼻的下垂体手術後の外鼻変形に対する治療

【研究の目的・背景】

《目的》

当院で施行した症例について、変形パターン、術式、術後経過を検討し、治療選択の指針となる臨床情報を提示する

《研究に至る背景》

経鼻的下垂体手術の術後合併症として鞍鼻変形や鼻孔狭窄などの外鼻変形が知られており、整容面に加え眼鏡装着困難や鼻閉などの機能障害を伴い患者のQOLを低下させるが、本疾患に対する治療報告は限られ、治療指針が確立されていない

【研究期間】

2026 年 7 月 29 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。使用する臨床写真内の目、口など個人を特定しうる可能性がある部位は黒帯処理し、可能な限り特定の個人を識別できないようにします。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、心電図、MRI 画像データ、CT データ、薬歴、臨床写真、看護記録

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 形成外科 ・ 江口智明

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：形成外科 ・ 江口智明

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2027 年 3 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 形成外科 ・ 四本竜太郎

電話 03-3588-1111(代表)